

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 日本ロジテム株式会社  
 コード番号 9060 URL <http://www.logitem.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 川口 要

TEL 03-3433-6711

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,158	5.5	107	22.7	94	101.1	44	—
23年3月期第1四半期	8,681	△0.7	87	△26.2	47	△35.2	△18	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △44百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.26	—
23年3月期第1四半期	△1.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	29,301	9,999	33.5
23年3月期	29,480	10,117	33.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,826百万円 23年3月期 9,923百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	0.2	165	△16.3	100	△29.1	10	△88.5	0.73
通期	35,500	1.1	580	60.0	450	84.8	165	△17.6	12.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	13,833,109 株	23年3月期	13,833,109 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	146,533 株	23年3月期	146,335 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	13,686,711 株	23年3月期1Q	13,687,264 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表等 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災の甚大な被害により経済活動が停滞するとともに、原発事故による電力供給制限など懸念すべき問題も多く、先行きの読めない状況で推移いたしました。

当社グループが属する物流業界につきましても、燃料価格の高騰、同業他社との価格競争の激化に加え、東日本大震災の影響によりサプライチェーンが混乱するなど、業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「日本一信頼される企業グループ」を目指し、収益力の飛躍的向上および経営基盤の強化、国際物流事業の拡大、CSR（企業の社会的責任）経営の推進を経営目標としてグループ一丸となって取り組みました。

営業収益につきましては、食品関連の既存得意先の受注範囲が拡大したことに加え、復興需要に伴う建材および食品関連をはじめとする既存得意先の業容が拡大したことなどから、増収となりました。

営業利益および経常利益につきましても、燃料価格の高騰による利益圧迫要因があったものの、倉庫稼働率の向上、販売費及び一般管理費の削減および営業外損益の改善などにより増益となりました。四半期純利益につきましても、上記記載の要因に加え、特別損失が減少したことにより、黒字転換することができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は91億58百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は1億7百万円（同22.7%増）、経常利益は94百万円（同101.1%増）、四半期純利益は44百万円（前年同期は四半期純損失18百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 貨物自動車運送事業

営業収益につきましては、当社および阪神ロジテム株式会社において、食品関連の既存得意先の受注範囲が拡大したことなどから、増収となりました。一方で、営業利益につきましては、日本国内およびベトナムにおいて、燃料価格が高騰したことなどから、減益となりました。

その結果、営業収益は45億5百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は2億57百万円（同12.4%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の49.2%を占めております。

## ② センター事業

営業収益につきましては、当社において、食品関連の既存得意先の受注範囲の拡大、震災の影響に伴い一時的に食品関連の取扱数量が増加したことなどから、増収となりました。一方で、営業利益につきましては、一部得意先の受注範囲の拡大に伴い倉庫オペレーション費用が一時的に嵩んだこともあり、減益となりました。

その結果、営業収益は14億88百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は1億18百万円（同1.1%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の16.3%を占めております。

## ③ アセット事業

営業収益につきましては、当社において、震災の影響に伴い食品関連の取扱数量の増加により一時的に賃借倉庫を増床したほか、前年同期と比べ倉庫稼働率が向上したことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は15億13百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は2億12百万円（同19.0%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の16.5%を占めております。

## ④ その他事業

ロジテムエンジニアリング株式会社において、復興需要に伴う仮設住宅の内装工事を受注したことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は16億51百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は2億12百万円（同6.1%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の18.0%を占めております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

## (資産)

流動資産は、受取手形及び営業未収入金が35百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて19百万円減少し、79億28百万円となりました。固定資産は、敷金及び保証金が2億24百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて1億59百万円減少し、213億73百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1億79百万円減少し、293億1百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2億29百万円増加し、102億57百万円となりました。固定負債は、長期借入金が3億12百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて2億89百万円減少し、90億45百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて60百万円減少し、193億2百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、為替換算調整勘定が95百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて1億18百万円減少し、99億99百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績については、予想通りに推移しており、第2四半期累計期間および通期の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,116,135	2,094,704
受取手形及び営業未収入金	4,533,551	4,498,337
その他	1,308,725	1,345,660
貸倒引当金	△10,096	△10,236
流動資産合計	7,948,316	7,928,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,191,148	5,075,500
土地	6,811,190	6,811,190
その他(純額)	1,590,159	1,593,021
有形固定資産合計	13,592,498	13,479,711
無形固定資産	803,712	786,916
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,549,038	5,324,954
その他	1,643,973	1,837,298
貸倒引当金	△56,616	△55,646
投資その他の資産合計	7,136,395	7,106,606
固定資産合計	21,532,606	21,373,234
資産合計	29,480,922	29,301,700
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,102,084	2,065,548
短期借入金	5,598,874	5,639,138
賞与引当金	323,816	92,776
その他	2,003,704	2,460,164
流動負債合計	10,028,480	10,257,626
固定負債		
社債	1,470,000	1,470,000
長期借入金	4,819,277	4,506,356
退職給付引当金	450,712	450,188
役員退職慰労引当金	342,406	347,131
その他	2,252,470	2,271,360
固定負債合計	9,334,868	9,045,036
負債合計	19,363,348	19,302,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,145,955	3,145,955
資本剰余金	3,190,060	3,190,060
利益剰余金	4,504,675	4,494,494
自己株式	△36,401	△36,442
株主資本合計	10,804,290	10,794,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,143	△13,224
為替換算調整勘定	△858,424	△954,303
その他の包括利益累計額合計	△880,568	△967,528
少数株主持分	193,852	172,498
純資産合計	10,117,574	9,999,037
負債純資産合計	29,480,922	29,301,700



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	8,681,861	9,158,348
営業原価	7,888,213	8,355,735
営業総利益	793,647	802,613
販売費及び一般管理費		
人件費	459,730	458,191
その他	246,553	237,270
販売費及び一般管理費合計	706,283	695,461
営業利益	87,363	107,152
営業外収益		
受取利息	3,288	10,578
受取配当金	3,293	3,548
受取手数料	5,215	6,189
持分法による投資利益	4,288	6,744
その他	6,044	9,353
営業外収益合計	22,131	36,414
営業外費用		
支払利息	52,286	44,714
その他	10,086	4,087
営業外費用合計	62,372	48,802
経常利益	47,121	94,764
特別利益		
固定資産売却益	1,477	922
貸倒引当金戻入額	330	—
特別利益合計	1,807	922
特別損失		
固定資産除売却損	515	1,899
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,620	—
特別損失合計	30,136	1,899
税金等調整前四半期純利益	18,793	93,788
法人税、住民税及び事業税	40,182	48,459
法人税等調整額	△3,604	△12,254
法人税等合計	36,577	36,204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,783	57,583
少数株主利益	703	13,017
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,486	44,565

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△17,783	57,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,067	8,877
為替換算調整勘定	△32,867	△111,491
持分法適用会社に対する持分相当額	△180	79
その他の包括利益合計	△47,115	△102,534
四半期包括利益	△64,899	△44,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△60,546	△42,394
少数株主に係る四半期包括利益	△4,353	△2,556

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成 22年 4月 1日 至 平成 22年 6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター 事業	アセット 事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	4,361,059	1,412,444	1,480,069	7,253,573	1,428,287	8,681,861	—	8,681,861
セグメント間の 内部収益又は振替高	—	—	6,829	6,829	600	7,429	△7,429	—
計	4,361,059	1,412,444	1,486,899	7,260,403	1,428,887	8,689,290	△7,429	8,681,861
セグメント利益	293,707	120,257	179,025	592,990	200,262	793,253	△705,889	87,363

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業（引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等）であります。

2 セグメント利益の調整額△705,889千円には、セグメント間取引消去393千円、各セグメントに配分していない全社費用△706,283千円が含まれております。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成 23年 6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他事業 (注)1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター 事業	アセット 事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	4,505,049	1,488,285	1,513,589	7,506,924	1,651,424	9,158,348	—	9,158,348
セグメント間の 内部収益又は振替高	—	—	6,829	6,829	600	7,429	△7,429	—
計	4,505,049	1,488,285	1,520,418	7,513,754	1,652,024	9,165,778	△7,429	9,158,348
セグメント利益	257,262	118,896	212,983	589,142	212,575	801,718	△694,566	107,152

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業（引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等）であります。

2 セグメント利益の調整額△694,566千円には、セグメント間取引消去895千円、各セグメントに配分していない全社費用△695,461千円が含まれております。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。